

令和元年度 第4回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

1 日 時

令和2年2月18日（火） 午後2時から午後3時まで

2 場 所

海老名市役所 3階 政策審議室

3 出席者

委 員：6名 { 田口委員、桐生委員、小林委員、河野委員、前田委員、
森島委員

事務局：6名 { 江成保健福祉部長（途中退席）、小松保健福祉部次長、
井上国保医療課長、藤本国民健康保険係長、
石井国保医療課主幹兼保健師、永田

4 傍聴者

0名

5 議事

議題（1）資料に基づき、事務局から説明

（質疑等）

なし

議題（2）資料1及び2に基づき、事務局から説明

（質疑等）

委 員 資料1歳出において、被保険者数が減少している中で、高額療養費が増額となっている要因は何か。

事務局 医療の高度化や薬価改定による医療費の増加による。併せて、被保険者の年齢による。70歳以上と70歳未満で限度額が異なるため、被保険者の自己負担額が減り、保険者負担額が増えることになる。

委 員 薬価改定により、今まで保険適用外だったものが保険適用となることによって、負担額が増えることがある。

委 員 広島県では、国保特別会計での負担が増加し、調剤の重複チェックを強化するとのことだが、神奈川県の状態はどうか。

委員 国からの方針により、薬局での対応を「対物」から「対人」に切り替え、全店共通のお薬手帳を活用した取り組みをするよう示されている。これにより、薬剤師から医師等への連絡をすることで、重複のみならず多剤の改善にもつながると思う。

議題（3）資料に基づき、事務局から説明

（質疑等）

委員 実施計画評価シート【平成30年度】内、2特定保健指導（6）糖尿病重症化予防事業の内部評価にて、令和元年度の健診結果の確認が取れていないとのことだが、何を以って評価をすればよいのか。

事務局 実施計画に対する取り組みについて評価をして欲しい。

閉会

以上